



よ ば てんびょう 四つ葉点描

きょういくもくひょう
教育目標

うつく しい
「美しく生きる」



四日市市立中部中学校

令和5年11月9日

第16号

どとう 怒涛の10月が終わりました。

みの あき せい か まん きつ 実りの秋。成果を満喫!



10月2日の中間テストから、新人大会を経て、31日の文化祭まで、とても充実した1か月でした。気持ちの切り替えが大変でしたが、生徒の皆さんは、どれもよく頑張ってくれました。この4連休は、少しは心と体を休めることができましたでしょうか？

えが お なみだ 新人大会で見られた笑顔と涙



3年生が引退し、新チームで臨んだ中体連三泗地区新人大会。僅差で勝ちを拾うチームもあれば、破れてしまったチームもあり、悲喜こもごもの結果となりました。勝ち進むにつれて、強豪校に圧倒され、力の差を見せつけられた試合もありました。個人個人を見れば、試合の中で良いプレーが各所で見られ、この時期の大会としては、大変収穫あるものとなりましたね。

新人大会を終え、新たな目標を掲げて「練習に取り組む姿勢」を改善したチームがあるときいています。勝ち負けは、相手がいること。チームとして、満足のいく結果が得られるよう練習で対話を重ねよう。

でんとう しんぷう
文化祭で見られた伝統と新風



この日のために練習を重ねてきた合唱。3年生の演奏は、どのクラスも圧巻でした。体育館の空気を
 変える迫力と表現力はさすがでした。体育祭に引き続き、最上級生としての責任を立派に果たしてくれま
 した。ワールドクラスの発表、英語スピーチも会場の人々に感動を与える素晴らしいものでした。人の心を動
 かす発表ができるというのは、すごいことですね。

吹奏楽部の素敵な演奏が聴けるといのも、中部中学校の強みです。会場全体が手拍子で応援する
 大いに盛り上がったステージになりました。また、展示発表も見ごたえがありました。アートクラフト部の作品
 は、個性にあふれ、部屋の飾りつけとともに、文化祭らしさを創ってくれていました。

コロナ禍で分断されていた文化祭ですが、ようやく全員で楽しむことができました。学年を超え、みんな
 作りあげる文化祭。これから、もっともっと進化していく可能性が垣間見られた文化祭でした。
 優勝した3年2組と吹奏楽部は、11月9日(木)に開催される三泗音楽会に出場します。

えきでん
三泗駅伝大会 女子14位 男子7位

早い人は夏休みから練習を始めた
 駅伝チーム。朝練、休日の試走を積
 み重ね、走力を磨いてきました。

当日は、全力で走り抜け、仲間に
 タスキをつなぎました。自分の区間を



走り切る責任。後を仲間に託す信頼。見事にチーム力を発揮していました。苦しさを乗り越えて、つかんだ
 充実感、は、きっと大切な宝物となったことでしょう。お疲れさまでした。